

農山漁村地域整備計画 事後評価

【広島県】

計画の名称	広島県農業農村活性化プラン
計画策定主体	広島県
対象市町村	広島市, 呉市, 竹原市, 三原市, 尾道市, 福山市, 府中市, 庄原市, 東広島市, 安芸高田市, 江田島市, 安芸太田町, 北広島町, 大崎上島町, 世羅町, 神石高原町, 三次市
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）
計画の目標	産業として自立できる農業の確立
定量的指標	集落農場型農業生産法人（集落法人）等の担い手が経営する農地面積拡大（現状に対して25%増）に向けて、農業生産基盤整備の推進を図る。

交付対象事業の進捗状況【農山漁村地域整備交付金実施要領第5の2の(1)】

5年間で延べ83地区を本計画に位置づけ事業を実施した結果、平成26年度までに46地区が完了した。残り37地区のうち3地区は他の交付金に移行し、34地区は平成27年度からの次期計画である「広島県農業農村活性化プラン（2期）」に継続地区として位置づけており、事業の進捗状況は順調である。

事業効果の発現状況【農山漁村地域整備交付金実施要領第5の2の(2)】

農地整備事業	➤ 集落法人等の担い手への農地集積や農地の大区画化、通作条件の整備を図ったことから、生産コスト等の削減に繋がった。
農業基盤整備促進事業	➤ 担い手が経営する農地の整備を行い、生産基盤の整備を進めた。
農業農村整備実施計画策定事業	➤ 農地整備事業等の予定地区における実施計画策定により、事業の計画的・効率的な推進に繋がった。
水利施設整備事業	➤ 農業用排水施設の新設・更新等により、農業用水の安定的な農業用水の確保に繋がった。
農地防災事業	➤ ため池等の整備により、農山漁村地域の安全・安心に繋がった。
地域用水環境整備事業	➤ 農業用ダムの放流水を活用した小水力発電施設の新設により、農業水利施設が持つ再生可能エネルギーの有効活用に繋がった。
農業集落排水事業	➤ 農業集落排水施設の機能診断調査及び最適整備構想を策定することで、施設の長寿命化対策に繋がった。
中山間地域総合整備事業	➤ 中山間地域において、農業生産基盤と生活環境の整備を一体的・総合的に実施することにより、農業生産性の向上が図れるとともに、農村の快適な生活環境等の確保に繋がった。
農道整備事業	➤ 農業生産の近代化又は農業生産物の流通の合理化を図るため、基幹農道の整備を進めた。
畜産環境総合整備事業	➤ 畜産経営に起因する環境汚染を防止し、資源循環型畜産を推進するため、堆肥化施設の機能保全対策による施設の長寿命化対策に繋がった。
海岸保全施設整備事業	➤ 海岸保全施設を整備することで、背後地の農地保全等に繋がった。

成果目標の目標値の実現状況【農山漁村地域整備交付金実施要領第5の2の(3)】

定量的指標	目標値 (A)	実績値 (B)	目標達成率 (B/A)	達成評価
担い手が経営する農地面積拡大 (現状に対して25%増)	25%	42%	168%	達成

今後の方針【農山漁村地域整備交付金実施要領第5の2の(4)】

引き続き、産業として自立できる農業の確立に向け、担い手が将来の生活設計を描ける経営の確立や地域資源の維持、農村地域の暮らしの安全・安心の確保に向けた取組を推進する。